

新型コロナウイルス感染症に関する情報

板橋区コロナ患者等受診支援事業

自宅療養中に体調が悪化し、受診先がない場合（かかりつけ医が休診など）

☎ 070-4488-3807 ☎ 070-4488-3808

※いずれも平日9時～16時、土曜9時～12時

東京都新型コロナ相談センター

一般相談・医療機関の案内・自宅療養中患者の健康相談など

☎ 0120-670-440 ※24時間 土日祝日を含む毎日

板橋区新型コロナワクチンコールセンター

☎ 0120-985-252 ※午前9時から午後6時まで
(土日祝日対応)

最新情報は
区ホームページを
ご覧ください。



板橋区新型コロナ健康相談窓口は
令和5年7月31日に業務を終了しました！



板橋区議会議員

田中しゅんすけ

PROFILE

- 生年月日/1968(昭和43)年3月12日 東京都板橋区生まれ
- 学歴/明治大学政治経済学部経済学科卒業
- 経歴/広告代理店(企画営業)勤務を経て、国会議員の秘書として14年(内、政策秘書4年・公設第一秘書2年・公設第二秘書4年8ヵ月)活動し、2011(平成23)年板橋区議会議員に初当選。健康福祉委員会委員長、企画総務委員会委員長、議会運営委員会委員長、板橋区議会自民党幹事長等を務め、現在4期目。



公式ホームページ

皆さまのご意見・ご要望をお聞かせください！

田中しゅんすけ
事務所 ▶▶▶ TEL.03-6780-5278

<https://syunsuke-tanaka.jp>



X(旧ツイッター)

Vol.17

2023.09

板橋区政Report

区議会議員田中しゅんすけの区政レポート&活動報告

災害への備え

給食費の無償化について

田中しゅんすけ活動報告

新型コロナウイルス感染症に関する情報

この度の板橋区議会議員選挙では、
区民の皆様のご支援を賜り4回目の
当選を果たすことができました。
引き続き地域の“声”を板橋区に
届けてまいります。



PHOTO:石神井川にかかる板橋

災害への備え(地域の方からの問い合わせ)

線状降水帯とは？

近年、線状降水帯という用語を耳にすることが多くなりました。これは一体、何者なのでしょう？端的には「発達した雨雲が列をなした積乱雲が、数時間にわたって同じ場所に強い雨を降らせる雨域」*1のことです。つまり、強い雨が数時間にわたって降り続く「集中豪雨」の一種ですが、発生のメカニズムに未解明の部分があったり、観測データを集めにくかったりといったことから、予測が難しいことが問題です。

そういう意味では、線状降水帯は、2008年の新語・流行語大賞にも選ばれた「ゲリラ豪雨」*2の一種でもあるようです。

*1: 雨域の長さや幅、雨の強さや継続時間についての詳細な定義があります。
*2: 正式な気象用語ではなく、突発的で正確な予測が困難な局地的大雨をゲリラに例えた流行語。



板橋区LINE公式アカウントにて、最新の災害情報を発信しています。



板橋区でも、台風等の大雨時に区民の方々への注意喚起や被害の未然防止、軽減を図ることを目的とした板橋区気象観測システムを導入しています。雨量計や水位計・河川監視カメラを増設し、最新の情報を発信しているので是非ご活用ください。

LINE 板橋区LINE公式アカウント

防災

子育て

イベント

多彩なメニューから簡単に区の情報にアクセスできます。

詳しくは、区ホームページをご覧ください。



友だち募集

板橋区立小・中学校の給食費の無償化について

5月18日、板橋区議会自民党は坂本健区長へ「学校給食の無償化を求める緊急要望書」を提出しました。



昨今の物価高騰が続く社会情勢を考えると一刻も早い対応が必要となります。板橋区から補正予算(3号)として事業提案があり、委員会審査を経て6月23日の最終本会議で議決されました。まずは2学期・3学期(令和5年9月～令和6年3月)までの予算の計上となります。子育て世代への負担が減り、子どもたちが安心して給食がとれる環境の整備をしなければなりません。今後は恒久的な財源の確保が必要となりますので、引き続き国へ財源の負担を求めてまいります。



活動報告(地域の方からの相談)

道路が陥没しました! 》 区の土木部に対応を依頼

陥没の原因は、多くが下水道管などの破損です。下水管は、皆さんの家庭から排出される生活用水や敷地内に降った雨水を流しています。その継ぎ目が外れたり、管にヒビが入ったりすると、そこに地中にしみ込んだ雨水などが周囲の泥や砂を巻き込みながら下水管に流れるため、地中に空洞ができます。その空洞が崩れて落ち込むことで陥没が発生します。小さい空洞なら道路の舗装が支えてくれますが、気温が高いと舗装材のアスファルトが柔らかくなり、空洞を支える力が小さくなるため、気温の高い夏に陥没が多くなります。

